

事業所名

FLOW八尾

FLOW八尾支援プログラム

作成日

2025年

2月

1日

法人（事業所）理念		自分らしくが叶う場所となる。必要な場所に必要な”ものことがら”を生み出し、だれもが自分らしく生きていくことが「叶う」社会の実現を目指します。 3つの使命：①その人らしく生きることができる社会を実現する ②それぞれの強みを発揮できる社会を実現する ③ご家族を含めて幸福となる社会を実現する					
支援方針		<p>▶強みを引き出すため個々のニーズに沿ったサービス 個々のニーズに合わせた個性性を重視したオーダーメイドのサービスを行います。</p> <p>▶専門職スタッフによるサービス 専門性を活かし、利用される方が中心となるように視点を変えながら、協働によるチームアプローチでサービスを行います。</p> <p>▶社会資源や環境へのアプローチを行うサービス 利用できる資源の活用や協働できる環境を構築し、その人らしさの追求となるように施設内だけではなく働きかけを行います。</p>					
営業時間		8時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	こどもの心身の状態について発達の過程や特性等を踏まえて、各専門職の視点から変化のサインを見逃さずにきめ細やかな観察を行い、必要に応じて一人ひとりに合わせた適切な対応を行う。 食事・排泄・衣服着脱等の生活の技能が獲得できるように、その基盤である機能・能力の促進を図るとともに、生活の習慣がより形成できるおよび生活の技能がより成功するように、具体的な方法の提案や練習、ものや道具を含む環境の調整や工夫、段階づけなどの具体的な支援も適時行う。 一人ひとりの感覚特性に応じた対応方法や環境の調整・工夫、活動等の段階づけなどについての支援を行う。					
	運動・感覚	「自身の状態や周囲の状況（環境）を把握して、運動する・行動する・他者とコミュニケーションをとる」というサイクルがよりよくなるように、その根幹である感覚情報の交通整理を行うことで、発達のピラミッドがより積み上がっていくように基盤から発達のサポートを行う。 滑り台・ブランコ・トランポリンなどの遊具を用いた遊びを通して、「こころ」「からだ」「ことば」の基盤からの発達を促す。 感覚プロファイルや臨床観察、必要に応じてJPAN感覚処理・行為機能検査などの質問紙や検査を用いて、専門的な視点から評価・分析・プログラム立案し支援を行う。					
	認知・行動	アセスメントシート・面談等での聞き取り・観察などにより認知や行動の特徴を捉え、専門的な視点から評価・分析を行い、ニーズに応じたオーダーメイドの支援プログラムを提供する。 環境との相互作用の観点から具体的な体験を通して、物の機能や属性に気づく・分かる、動きや傾き・スピード・感触・大きさ・重さ・形・色・音などが変化が生じる様子に気づく・分かる、次元（空間・時間）に気づく・分かるなど、概念形成のプロセスとなる機会、認知や行動の手がかりとなる機会を一人ひとりに応じて組み合わせ、工夫して提供する。 感覚プロファイルや臨床観察、必要に応じてJPAN感覚処理・行為機能検査等を行い、評価・分析により行動の背景となる要素をひも解いて、支援プログラムの提供を行う。					
	言語コミュニケーション	一人ひとりのコミュニケーションの発達段階に応じた関わりと「したい」「やりたい」という内的な欲求を重視した関わりを通して、ともに遊ぶ仲間という共有感を育み、「伝わる」成功体験・「やりとりする」成功体験を積み上げ、その拡大を図る。 遊びを通じた関わりの中で、こどもが理解しやすく発音しやすい言葉・音声による「こうしたら、こうなった」という因果関係の成立や表現の広がりや、こどもの言語発達段階に合わせてサポートする。 「読み」「書き」に関する専門的な評価・分析を行い、一人ひとりに合わせた読み書き能力の向上に向けた基盤からのプログラムを行う。					
	人間関係社会性	アタッチメントの形成・安定につながるように、保護者の方も交えた支援を提供する。 人間関係・社会性に必要な因果関係の把握や模倣などについて、感覚運動等からの育ちを支援する。 人に関わる楽しさからの人間関係の芽生え、具体的な活動を通じた人との関係の持ち方や仲間意識、仲間づくりにつながるよう支援する。 ストーリーを共有した遊びやごっこ遊びなどの象徴遊びを通して、他者との関わりや協力、役割分担、ルールの共有など社会性の発達を支援する。 支援者との関わり・こども同士の関わりなど人と人の相互交流を通して、自己理解・他者理解につながる支援を行う。					
家族支援	目標設定支援ツールである作業選択意思決定支援ソフトADOCを用いて、保護者の方と協働して目標設定を行う。 療育毎に振り返りの機会を設け、療育場面や支援内容について共有しながら、こどもをより深く理解して頂けるような説明、日常生活の中での関わり方に関する提案、相談に関する助言などを行う。	移行支援	就園・就学などのライフステージの移行や暮らしている地域とのつながりの拡大などにおいて、必要な支援や応援の共有・協業が行えるように関係機関や地域資源との連携を図る。				
地域支援・地域連携	園や学校、機関や施設、他事業所等との連携を図り、必要な応援をつなぐことでサポートを行う。		職員の質の向上	月一回程度の頻度で全体研修を設定し、支援の質の向上を図る。 質の高い支援が提供できるように日本感覚統合学会入門講習会・感覚統合療法認定講習会の受講を社員研修として実施。 社員の自己研鑽を後押しするために研究助成を実施。積極的な研究発表・実践発表が行えるよう環境づくりを実施。			

主な行事等

保護者支援として、保護者向けの研修会を開催。  
自然体験を中心とした季節の行事イベントを開催(実績：田植え、稲刈り、もちつき)。  
年一回、事業所を利用された方や現在利用されている方も含めて、地域の方々が集まれる場として「FLOW FES」を開催(実績：これまでに3回開催)。